

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	15H05792	研究期間	平成27年度～平成31年度
研究課題名	がん幹細胞化に關与する Sphere 形成メカニズムを標的とした革新的治療開発	研究代表者 (所属・職) (平成30年3月現在)	前原 喜彦 (九州大学・大学院医学研究 院・教授)

【平成30年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○ A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である

(意見等)

本研究は、がん幹細胞が濃縮している Sphere に注視し、新しい「Sphere Biology」の概念に基づき、難治性癌における新規治療の開発を目指した研究である。

進捗状況を総合的に評価した結果、研究計画調書に記載された研究計画を順調に遂行しているものと認められる。特に治療抵抗性の腹膜播種に対して、特許出願している Sphere の高精度3次元培養スクリーニング技術を応用し創薬を行っている点は評価出来る。

今後の研究計画にも示されている Sphere 形成変化とがん幹細胞の解析、関連分子の同定と臨床検体における発現解析、そして、最終出口である革新的治療シーズの開発に向けて鋭意努力することを期待する。